

**うわまち病院跡地に立地予定の看護系大学設置に
関する基本的考え方（骨子）【別冊資料編】**

令和6年（2024年）6月

横須賀市・公益社団法人地域医療振興協会

目次

(1) 医療・看護に関する需給動向	1
ア. 横須賀・三浦医療圏における医療需要等	1
図 1 横須賀・三浦の年齢区分別人口の推移	1
イ. 横須賀・三浦医療圏における医療需要の将来推計	2
図 2 横須賀・三浦の入院及び在宅医療等の医療需要	2
図 3 横須賀・三浦の年齢階級別の医療需要の増加率の推移	2
図 4 横須賀・三浦の入院医療需要の病床機能別推計	3
図 5 横須賀・三浦の在宅医療等の医療需要の将来推計	3
ウ. 需要面から推計した医療福祉分野の就業者数の推移	4
図 6 需要面から推計した医療福祉分野の就業者数の推移	4
エ. 全国的な看護人材の需給状況	5
図 7 看護職員の供給見通し	5
オ. 神奈川県内における看護人材需給状況	6
図 8 人口 10 万人に対する就業医療関係者（令和 2(2020)年末）	6
カ. 看護人材の需給状況	8
図 9 看護師数・看護師数増加率の推移	8
図 10 看護職員の需給推計（神奈川県）	9
(2) 看護等の基礎教育に関する社会的動向	10
ア. 全国的に見た看護師養成施設の推移	10
図 11 看護師養成施設の施設数・定員の推移	10
イ. 神奈川県内の看護師学校・養成所の状況	12
図 12 神奈川県内の看護師学校・養成所の施設数・定員	12
図 13 横須賀市内の看護師学校・養成所	12
図 14 神奈川県内における 4 年制大学の受験状況（令和 5 年度（2023 年度））	13
図 15 近隣大学の状況【入学金・授業料（実習費等を含む）】	13
図 16 近隣大学の状況【他の資格の取得コース（看護師以外）】	14
図 17 近隣大学の状況【医療系他学科・大学院の有無】	14
ウ. 看護師 3 年制課程の入学状況（全国）	15
図 18 看護師 3 年制課程の入学状況（全国）	15
図 19 市立看護専門学校の一般入試受験状況（受験倍率推移）	15
エ. その他の保健医療従事者の状況	16
図 20 医療関係従事者の状況（人口 10 万人対）	16
オ. 理学・作業療法士養成施設の状況	17
図 21 理学療法士・作業療法士の養成施設の都道府県別入学定員数	17

(3) 市立看護専門学校の現状と課題.....	18
ア. 概要	18
イ. 現状	18
図 22 市立看護専門学校学生数推移	19
図 23 看護師国家試験合格率	19
図 24 市立看護専門学校卒業生の進路状況.....	20
ウ. 市立看護専門学校の課題.....	21
図 25 市立看護専門学校受験者数推移.....	21
図 26 看護師 3 年課程教育内容の変遷.....	22
エ. 受験者の状況	23
図 27 市立看護専門学校受験者数の推移 (市内・県内 (横須賀市除く) ・県外)	23
オ. 合格者の状況	24
図 28 一般入試合格者の状況	24
図 29 受験者の併願先推移.....	24
カ. 入学者の状況	25
図 30 市立看護専門学校入学人数の推移 (新卒・既卒)	25
キ. 現在の市立看護専門学校の減免制度	25
ク. 市立看護専門学校における減免制度利用者	26
図 31 市立看護専門学校の学生数と授業料減免状況.....	26
ケ. 国と市の減免制度の比較.....	27

(1) 医療・看護に関する需給動向

横須賀・三浦医療圏()の生産年齢人口が減少傾向の中、医療需要は増加していく
【 横須賀市 | 鎌倉市 | 逗子市 | 三浦市 | 葉山町】

全国的に就業者数が大きく減少していく中、医療・福祉職の需要は増加していく(看護
師需要増、看護師不足が見込まれる)

神奈川県内の医療関係就業者数(人口10万人対)は、「保健師」「助産師」「看護師」
「准看護師」が全国平均を大きく下回っている

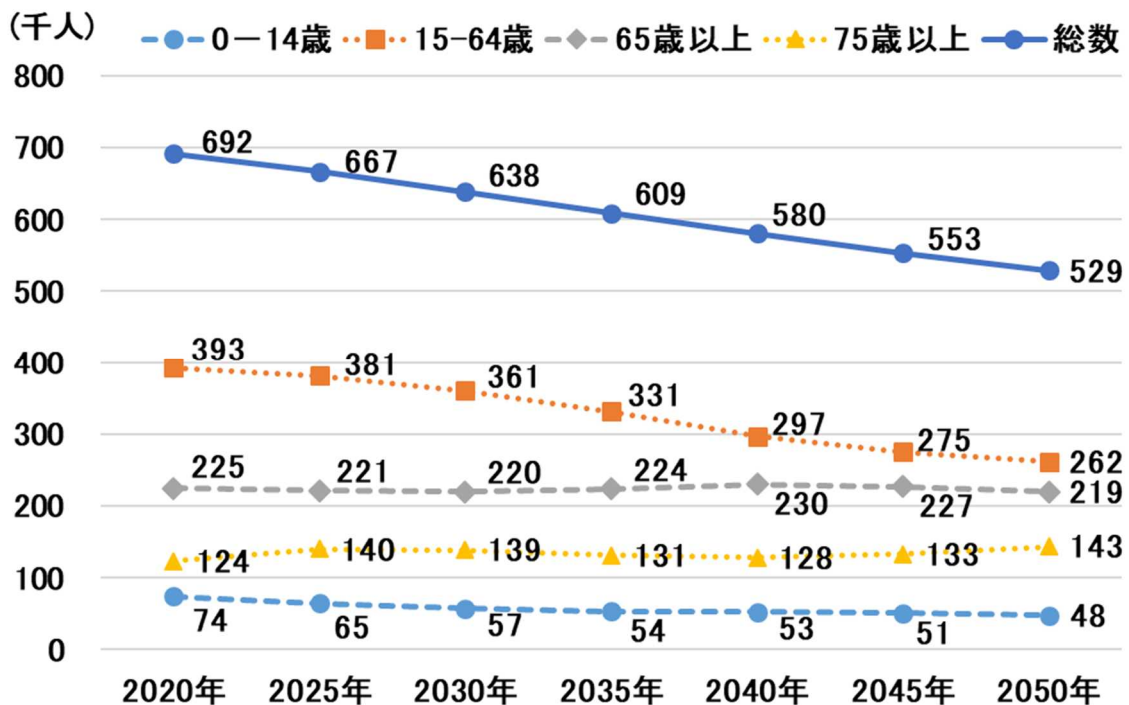
神奈川県の看護職員需給推計(2025年時点)では、看護師の不足が見込まれる

ア. 横須賀・三浦医療圏における医療需要等

- ・ 人口の減少が続くことが予測され、総人口は2020年(約69万人)から2040年(約58万人)までに約11万人減少することが見込まれる
- ・ 65歳以上の高齢者は2040年頃まで、ほぼ横ばいで推移することが見込まれる(約22万人程度で推移)
- ・ 生産年齢人口は、2020年(約39万人)から2040年(約29万人)までに約10万人減少し、労働力不足が見込まれる

「図1」参照

図1 横須賀・三浦の年齢区分別人口の推移



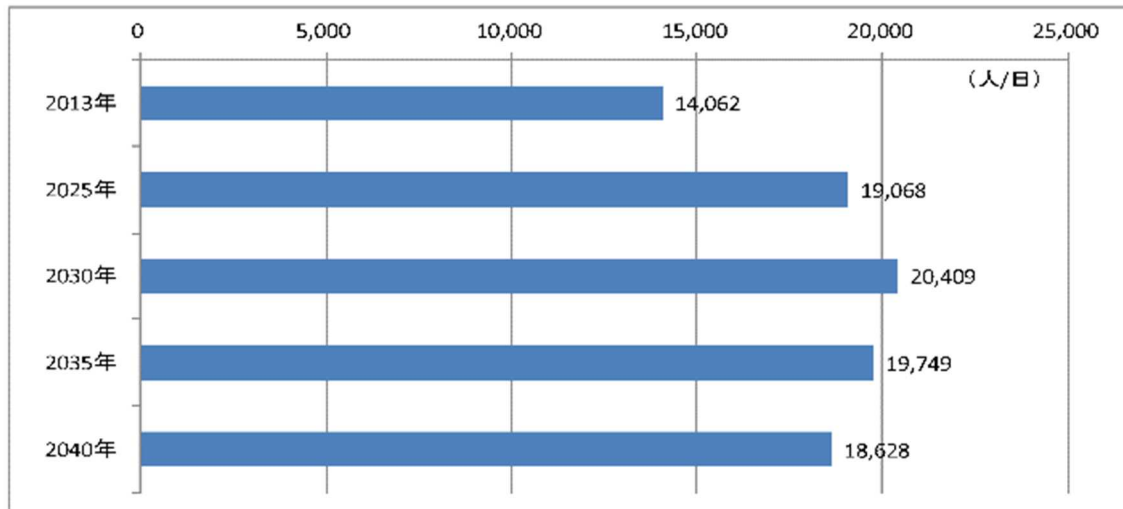
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」より作成

イ. 横須賀・三浦医療圏における医療需要の将来推計

- ・ 入院及び在宅医療等の医療需要は増え続け、2030年にピークを迎える（1日あたり約2万人）
- ・ その後の需要は人口減少に乗じて緩やかに減少しているが、65歳以上の医療需要は多く、推計時（2013年：約1.4万人）よりも上回る需要（2040年：約1.8万人）が見込まれる
- ・ 在宅医療等の医療需要、訪問診療についても同様の傾向

「図2、図3、図4、図5」参照

図2 横須賀・三浦の入院及び在宅医療等の医療需要



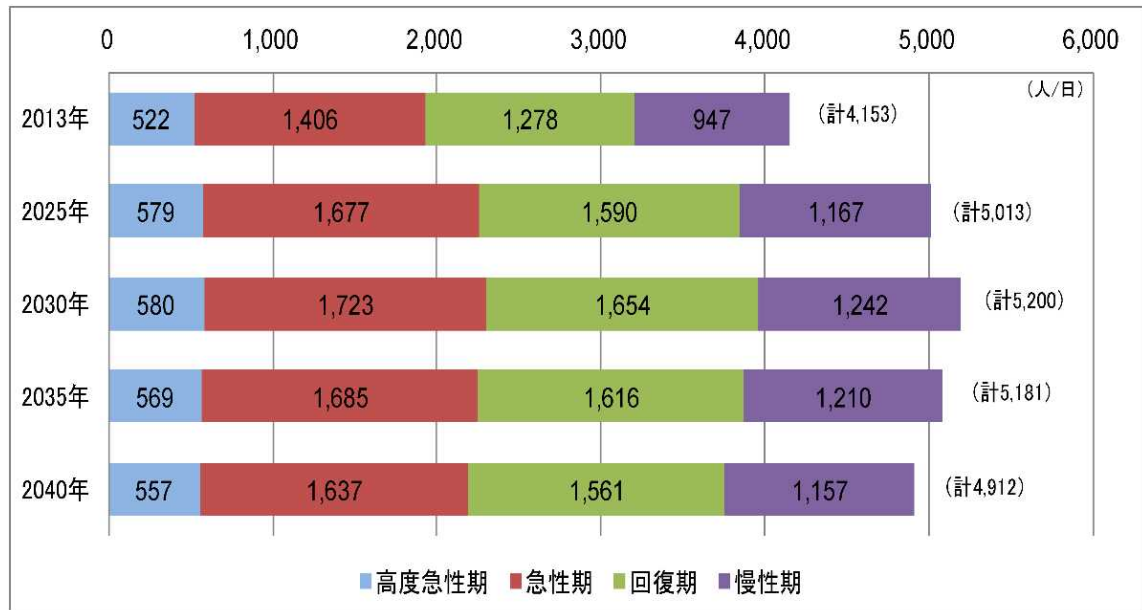
出典：神奈川県「神奈川県地域医療構想に係るデータ集（平成28年10月策定）」より抜粋

図3 横須賀・三浦の年齢階級別の医療需要の増加率の推移



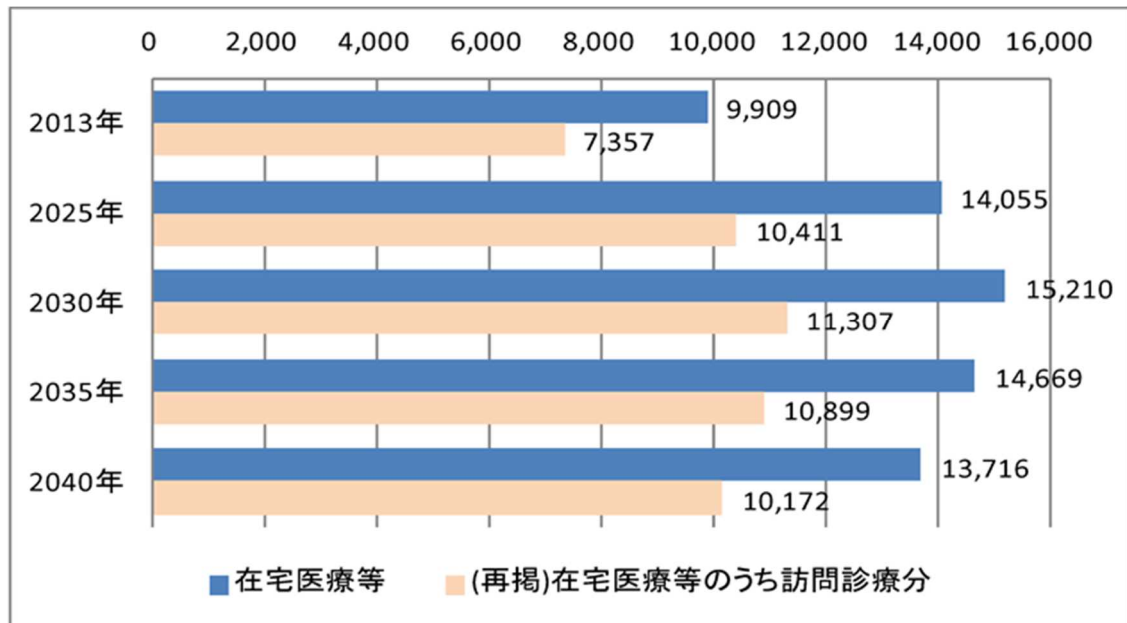
出典：神奈川県「神奈川県地域医療構想に係るデータ集（平成28年10月策定）」より抜粋

図 4 横須賀・三浦の入院医療需要の病床機能別推計



出典：神奈川県「神奈川県地域医療構想に係るデータ集（平成 28 年 10 月策定）」より抜粋

図 5 横須賀・三浦の在宅医療等の医療需要の将来推計



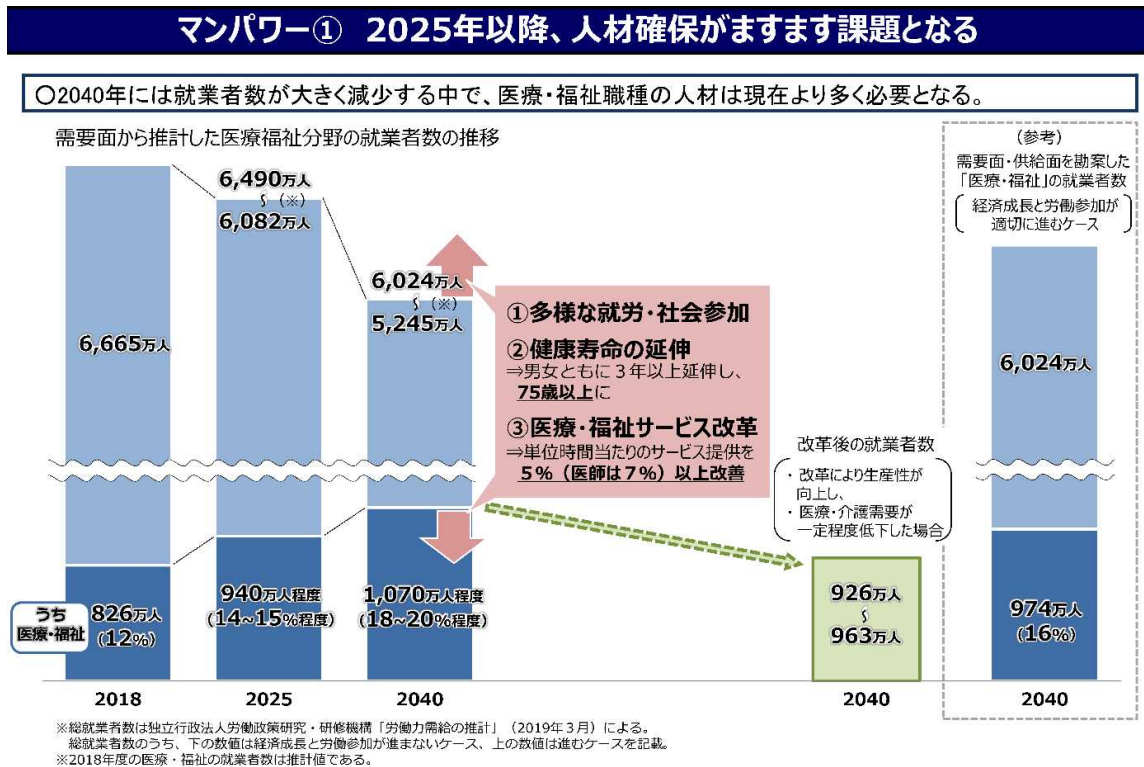
出典：神奈川県「神奈川県地域医療構想に係るデータ集（平成 28 年 10 月策定）」より抜粋

ウ. 需要面から推計した医療福祉分野の就業者数の推移

- 2018年から2040年までに就業者数が大きく減少する中（約6,665万人 約5,245万人）で、医療・福祉職種の人材は現在より多く必要となる（約826万人 約1,070万人）

「図6」参照

図6 需要面から推計した医療福祉分野の就業者数の推移



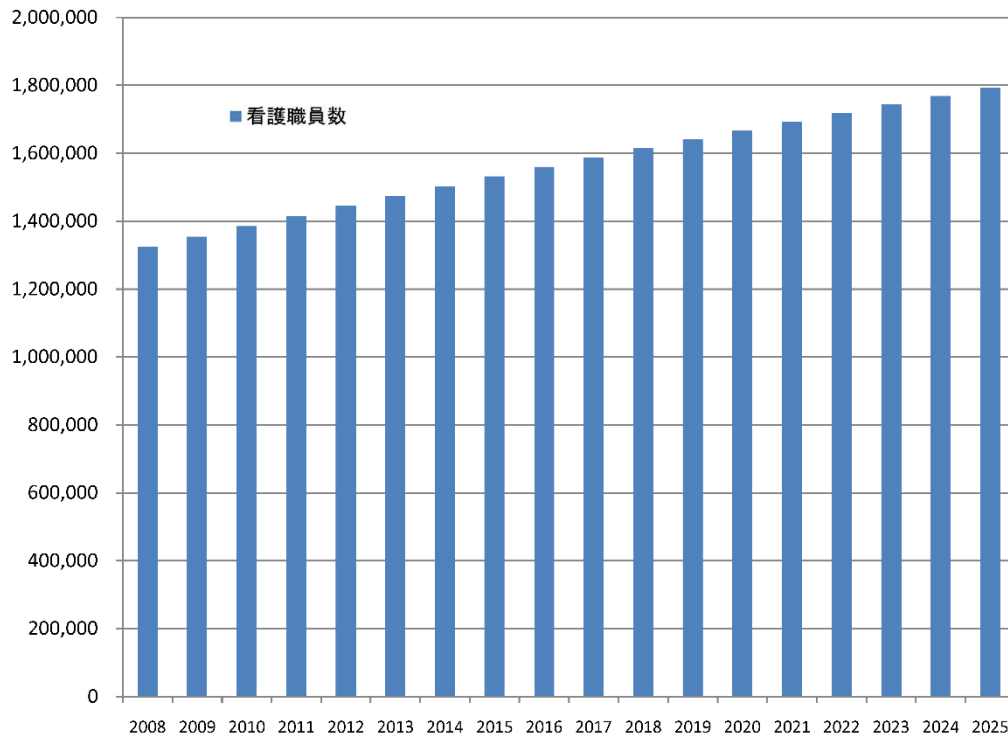
出典：厚生労働省「第8次医療計画等に関する検討会（令和4年3月4日・第7回）」
資料より抜粋

工. 全国的な看護人材の需給状況

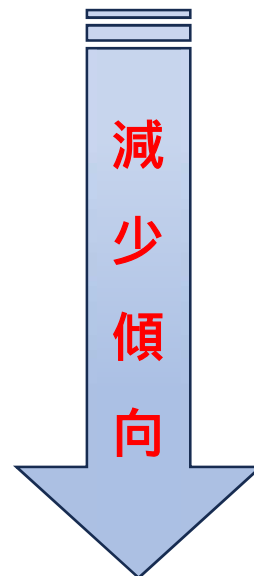
- 2008年から2025年までの看護職員数の見通しは、職員数は増える（約132万人～約179万人）が、年度ごとの増加数は減少傾向（2009年：約3万人～2025年：約2.4万人）

「図7」参照

図7 看護職員の供給見通し



	看護職員数	増加数/年
2008	1,323,459	
2009	1,354,430	30,971
2010	1,384,982	30,552
2011	1,415,116	30,134
2012	1,444,831	29,715
2013	1,474,127	29,296
2014	1,503,004	28,877
2015	1,531,463	28,459
2016	1,559,503	28,040
2017	1,587,125	27,621
2018	1,614,327	27,203
2019	1,641,111	26,784
2020	1,667,477	26,365
2021	1,693,423	25,947
2022	1,718,951	25,528
2023	1,744,061	25,109
2024	1,768,751	24,691
2025	1,793,023	24,272



出典：厚生労働省「第七次看護職員需給見通しに関する検討会（第6回資料「長期的看護職員需給見通しの推計」）」より作成

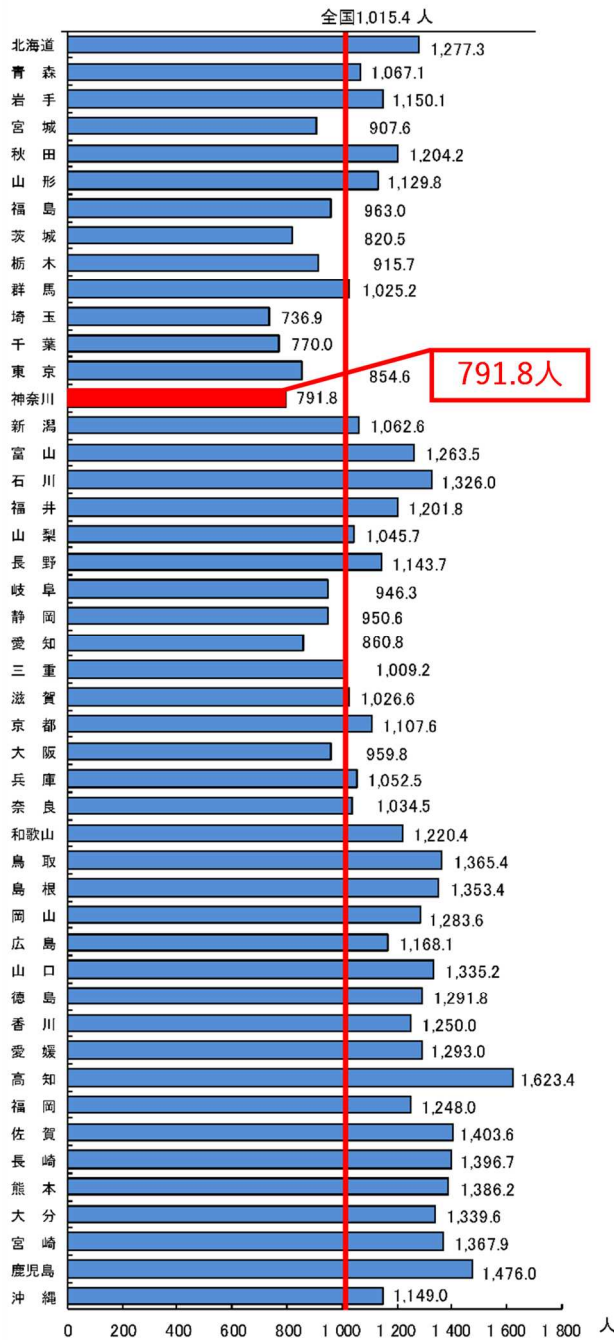
オ. 神奈川県内における看護人材需給状況

・ 人口 10 万人に対する県内の就業医療関係者数をみると、全国平均を大きく下回る
 (保健師・助産師・看護師・准看護師)
 「図 8」参照

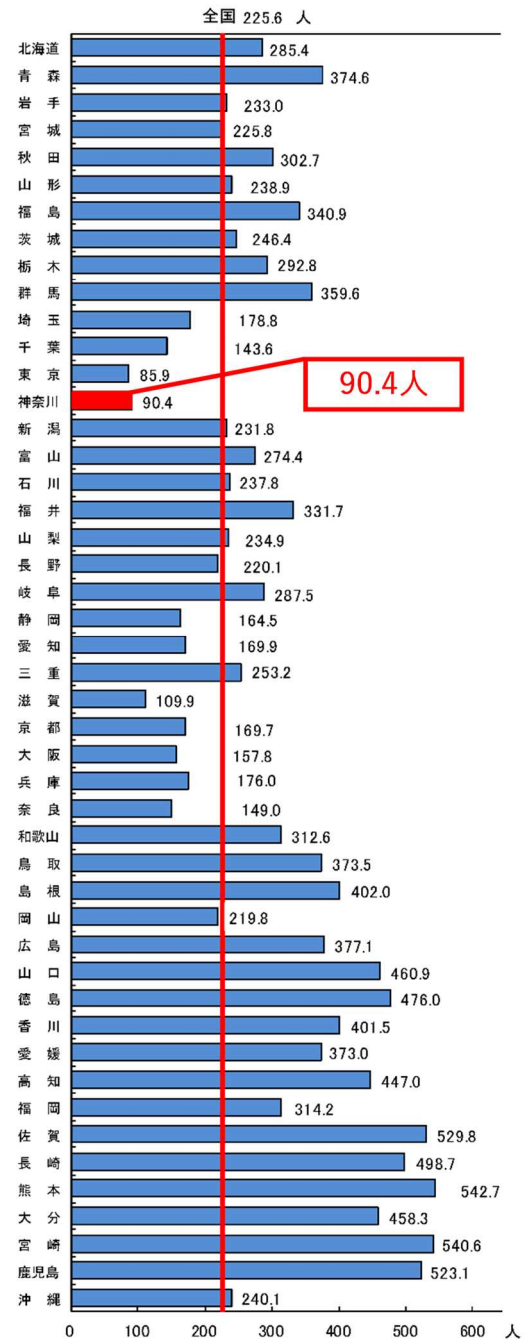
図 8 人口 10 万人に対する就業医療関係者 (令和 2(2020)年末)



人口 10 万対就業看護師数
令和 2 (2020) 年末現在



人口 10 万対就業准看護師数
令和 2 (2020) 年末現在



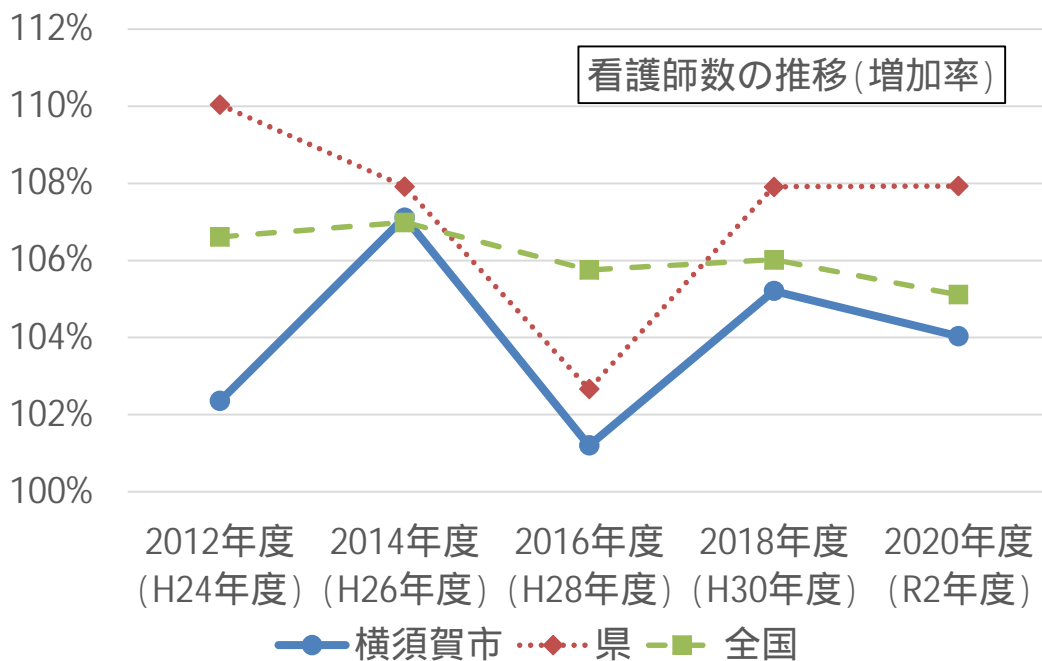
出典：令和 2 年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況より作成

カ. 看護人材の需給状況

- ・ 看護師数は全国、県、横須賀市全てにおいて増加傾向で推移しているが、市内看護師の増加率は全国、県の増加率を下回っている
「図 9」参照
- ・ 神奈川県 の 2025 年時点での需給推計では最低の場合で充足率が 68.2% となり、看護師の不足が見込まれる
「図 10」参照

図 9 看護師数・看護師数増加率の推移

	2012 年度 (H24 年度)	2014 年度 (H26 年度)	2016 年度 (H28 年度)	2018 年度 (H30 年度)	2020 年度 (R2 年度)
横須賀市	2,867 人	3,071 人	3,108 人	3,270 人	3,402 人
県	56,674 人	61,164 人	62,794 人	67,763 人	73,139 人
全国	1,015,744 人	1,086,779 人	1,149,397 人	1,218,606 人	1,280,911 人



出典：神奈川県「看護職員(保健師、助産師、看護師及び准看護師)の従事者数」より作成

図 10 看護職員の需給推計 (神奈川県)

(単位 人)

	県報告値	公表情報			
		基本シナリオ	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③
需要数 ア	109,970	112,521	116,095	117,137	124,681
供給数 イ	85,084	85,084			
不足数 ア-イ	24,886	27,437	31,011	32,053	39,597
充足率 イ/ア	77.4 %	75.6 %	73.3 %	72.6 %	68.2 %

基本シナリオ：県報告値を基に短時間勤務者の増加を考慮したもの

シナリオ①：就業中の全ての看護職員の超過勤務月10時間以内、有給休暇年5日以上

シナリオ②：就業中の全ての看護職員の超過勤務月10時間以内、有給休暇年10日以上

シナリオ③：就業中の全ての看護職員の超過勤務月 0時間、有給休暇年20日以上

出典：神奈川県「神奈川県の看護職員の需給推計について」より作成

(2) 看護等の基礎教育に関する社会的動向

全国の看護師養成施設数・定員は、4年制看護大学が増加傾向にある一方で、短期大学や専門学校などは減少傾向にある
(市立看護専門学校の受験者数も減少している)

神奈川県内の看護大学の受験者は、定員数を大きく上回っており、看護大学を進路に選択する学生が多い(4年制大学の需要が高い)

神奈川県内の看護師養成施設数・定員は約6割が3年制、約4割が4年制(大学)

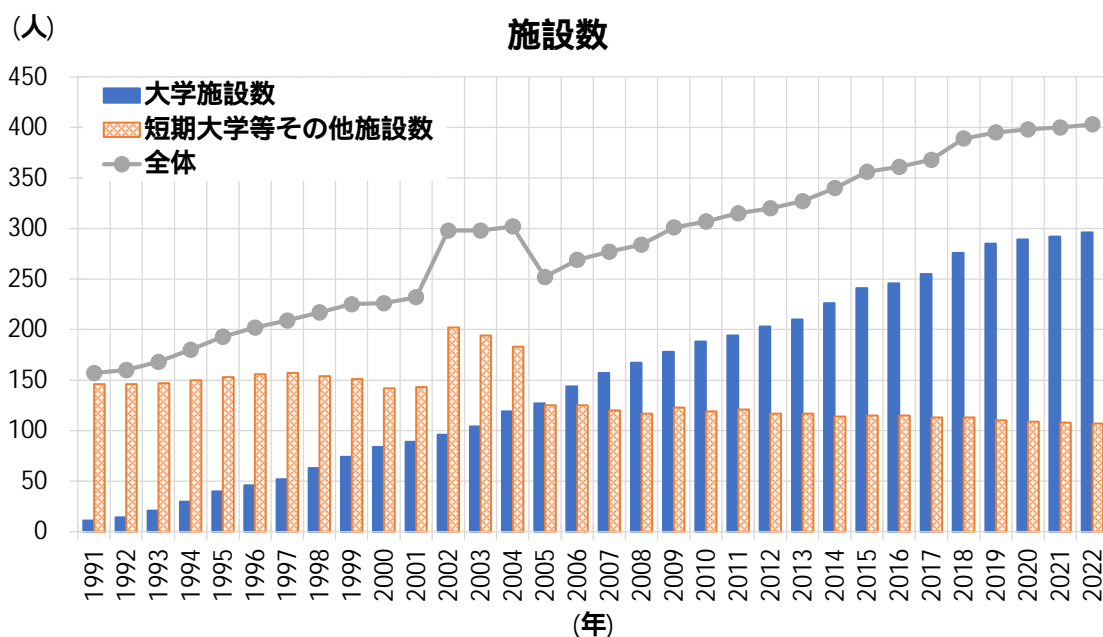
神奈川県は、理学療法士・作業療法士の養成施設数、定員が少ない
(人口上位10都道府県比較)

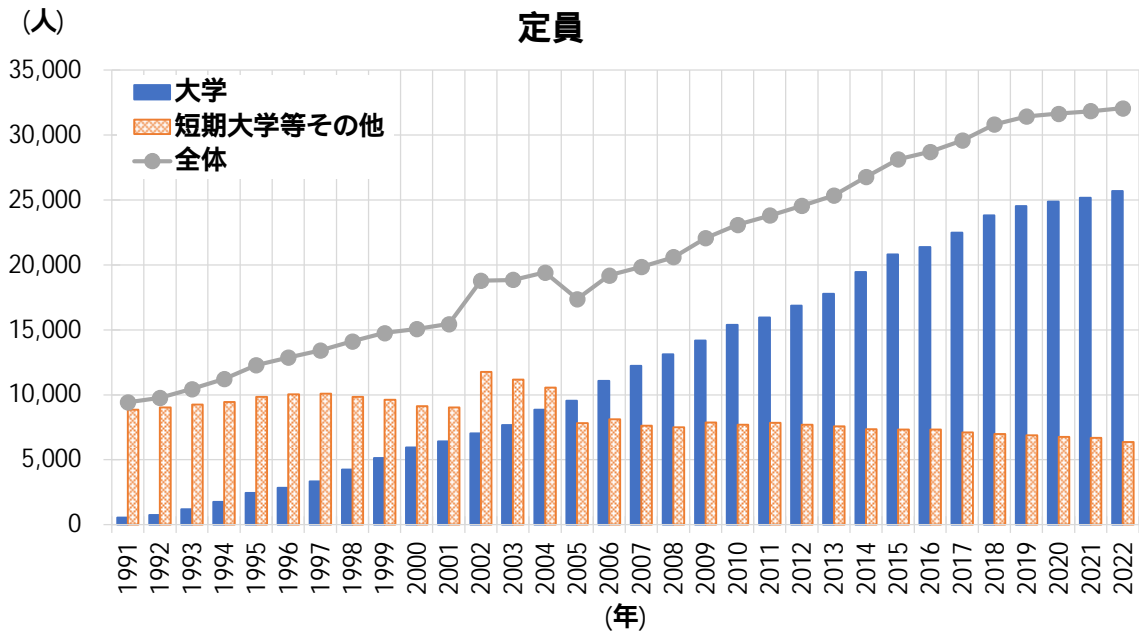
ア. 全国的に見た看護師養成施設の推移

- 全国的な看護師不足を背景に、看護系大学が急増
1991年(平成3年)に11校であった看護系大学数は、2022年(令和4年)には296校まで増加
- 大学は施設数、定員ともに増加傾向にある一方、短期大学や専門学校を始めとするその他の看護師養成施設数、定員は減少傾向

「図11」参照

図11 看護師養成施設の施設数・定員の推移





出典：文部科学省「看護師・准看護師養成施設・入学定員年次推移一覧」より作成

イ. 神奈川県内の看護師学校・養成所の状況

- ・ 神奈川県内の看護師養成施設数・定員は、約6割が3年制、約4割が4年制(大学) 「図12」参照
- ・ 市内の看護師養成施設は4校
「横須賀市立看護専門学校」「神奈川県立保健福祉大学」
「神奈川県立保健福祉大学」 「図13」参照
- ・ 受験者は定員数を大きく上回っており、看護大学を進路に選択する学生が多く、「4年制大学の需要が高い」ことがうかがえる 「図14」参照
- ・ 近隣大学の状況 「図15」「図16」「図17」参照

図12 神奈川県内の看護師学校・養成所の施設数・定員

分類	施設数		定員	
	数	割合	数	割合
1 大学【4年間】	14	35%	1,290	40%
2 専門学校等(教育訓練施設)【4年間】	1	3%	80	2%
3 短期大学・専門学校等【3年間】	24	60%	1,795	56%
4 専門学校等【夜間・4年間】	1	3%	40	1%
合計	40	100%	3,205	100%

出典：神奈川県ホームページ「神奈川県内の看護師養成施設」より作成

図13 横須賀市内の看護師学校・養成所

番号	期間	区分	名称	定員	地区
1	4年制	公立	神奈川県立保健福祉大学	90	横須賀市
2	3年制	私立	神奈川県立保健福祉大学短期大学部	80	横須賀市
3	3年制	公立	横須賀市立看護専門学校	40	横須賀市
4	3年制	私立	神奈川県立保健福祉大学専門学校	40	横須賀市

出典：神奈川県ホームページ「神奈川県内の看護師養成施設」より作成

図 14 神奈川県内における4年制大学の受験状況(令和5年度(2023年度))

【4年制大学】										定員 合計 1,290名
番号	区分	名称	定員	2023募集	志願者	受験者	合格者	倍率	地区	備考
1	公立	横浜市立大学	100			82	57	1.4	横浜市	
2	私立	関東学院大学	80		97		33	2.9	横浜市	
3	私立	昭和大学	95			573	248	2.3	横浜市	
4	私立	横浜創英大学	80			141	57	2.5	横浜市	
5	私立	湘南医療大学	80			288	93	3.1	横浜市	
6	公立	川崎市立看護大学	100	75		352	112	3.1	川崎市	令和4年度開設
7	私立	北里大学	120			689	300	2.3	相模原市	
8	公立	神奈川県立保健福祉大学	90			262	99	2.7	横須賀市	
9	私立	慶應義塾大学	100			500	163	3.1	藤沢市	
10	私立	国際医療福祉大学	80			535	183	2.9	小田原市	
11	私立	松蔭大学	100		83		78	1.1	厚木市	
12	私立	神奈川工科大学	80			96	91	1.1	厚木市	
13	私立	東海大学	85			571	229	2.5	伊勢原市	
14	私立	湘南鎌倉医療大学	100			279	152	1.8	鎌倉市	
令和5年度 合計			1,290			4,548	1,895			

約3.5倍

出典：各校ホームページ掲載情報より作成

図 15 近隣大学の状況【入学金・授業料(実習費等を含む)】

区分	地区	学校名称	費用(円)				
			区分	入学金	授業料 (1年当たり)	実習費等 (4年間総額)	4年間総額
公立	横浜市	横浜市立大学	市内	141,000	557,400	175,100	2,545,700
			市外	282,000		200,100	2,711,700
	川崎市	川崎市立看護大学	市内	141,000	535,800	-	2,284,200
			市外	282,000			2,425,200
	横須賀市	神奈川県立 保健福祉大学	県内	282,000	535,800	-	2,425,200
			県外	564,000			2,707,200
私立	横浜市	関東学院大学	-	200,000	1,025,000	2,588,660	6,888,600
	鎌倉市	湘南鎌倉医療大学	-	200,000	1,000,000	2,000,000	6,200,000
	横浜市	湘南医療大学	-	330,000	980,000	1,175,000	5,425,000

出典：各校ホームページ掲載情報より作成

図 16 近隣大学の状況【他の資格の取得コース（看護師以外）】

区分	地区	名称	保健師	助産師	その他
公立	横浜市	横浜市立大学	○	○ (※1)	※4
	川崎市	川崎市立看護大学	○	×	※4
	横須賀市	神奈川県立保健福祉大学	○	○ (※2)	養護教諭一種免許状
私立	横浜市	関東学院大学	×	×	×
	鎌倉市	湘南鎌倉医療大学	○	×	※4
	横浜市	湘南医療大学	○ (※3)	○ (※3)	×

- 1 大学院で助産師取得コースあり
- 2 令和3年度入学者から保健福祉学部看護学科における助産師課程の募集を停止
令和6年度より大学院博士前期課程にて取得可能
- 3 専攻科（1年）で取得コースあり
- 4 一般教養で必要な授業を履修した場合、保健師資格取得後、養護教諭二種免許
状と第一種衛生管理者免許を取得可能

出典：各校ホームページ掲載情報より作成

図 17 近隣大学の状況【医療系他学科・大学院の有無】

区分	名称	医療系他学科	大学院
公立	横浜市立大学	医学部医学科	医学研究科看護学専攻
	川崎市立看護大学	—	計画中
	神奈川県立保健福祉大学	栄養学科 社会福祉学科 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション研究科
私立	関東学院大学	—	看護学研究科
	湘南鎌倉医療大学	—	看護学研究科
	湘南医療大学	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 医療薬学科	保健医療学研究科 保健医療学専攻 (専攻科) 公衆衛生看護学専攻 助産学専攻

出典：各校ホームページ掲載情報より作成

ウ. 看護師3年制課程の入学状況(全国)

- ・ 応募者の減少傾向が続いており、平成30年度は1万人近くあったが、令和5年度は約6千人と、4割減少している
 - ・ 令和5年度は、合格者4,052人に対し入学者は3,215人と入学率が低く、定員を満たすことができない学校もある
- 「図18」参照
- ・ 市立看護専門学校の受験者(受験倍率)も開校当初の137人(3.4倍)から34人(2.3倍)まで減少している
- 「図19」参照

図18 看護師3年制課程の入学状況(全国)



出典：公益社団法人日本医師会「令和4年 医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査」資料より抜粋

図19 市立看護専門学校の一般入試受験状況(受験倍率推移)

年度	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
受験者	137	129	132	90	51	87	131	142	145	119	109	88	61	63	47	46	35	29	30	34
合格者	40	35	28	30	22	32	29	25	31	26	26	23	17	14	18	9	17	16	19	15
倍率	3.4	3.7	4.7	3.0	2.3	2.7	4.5	5.7	4.7	4.6	4.2	3.8	3.6	4.5	2.6	5.1	2.1	1.8	1.6	2.3

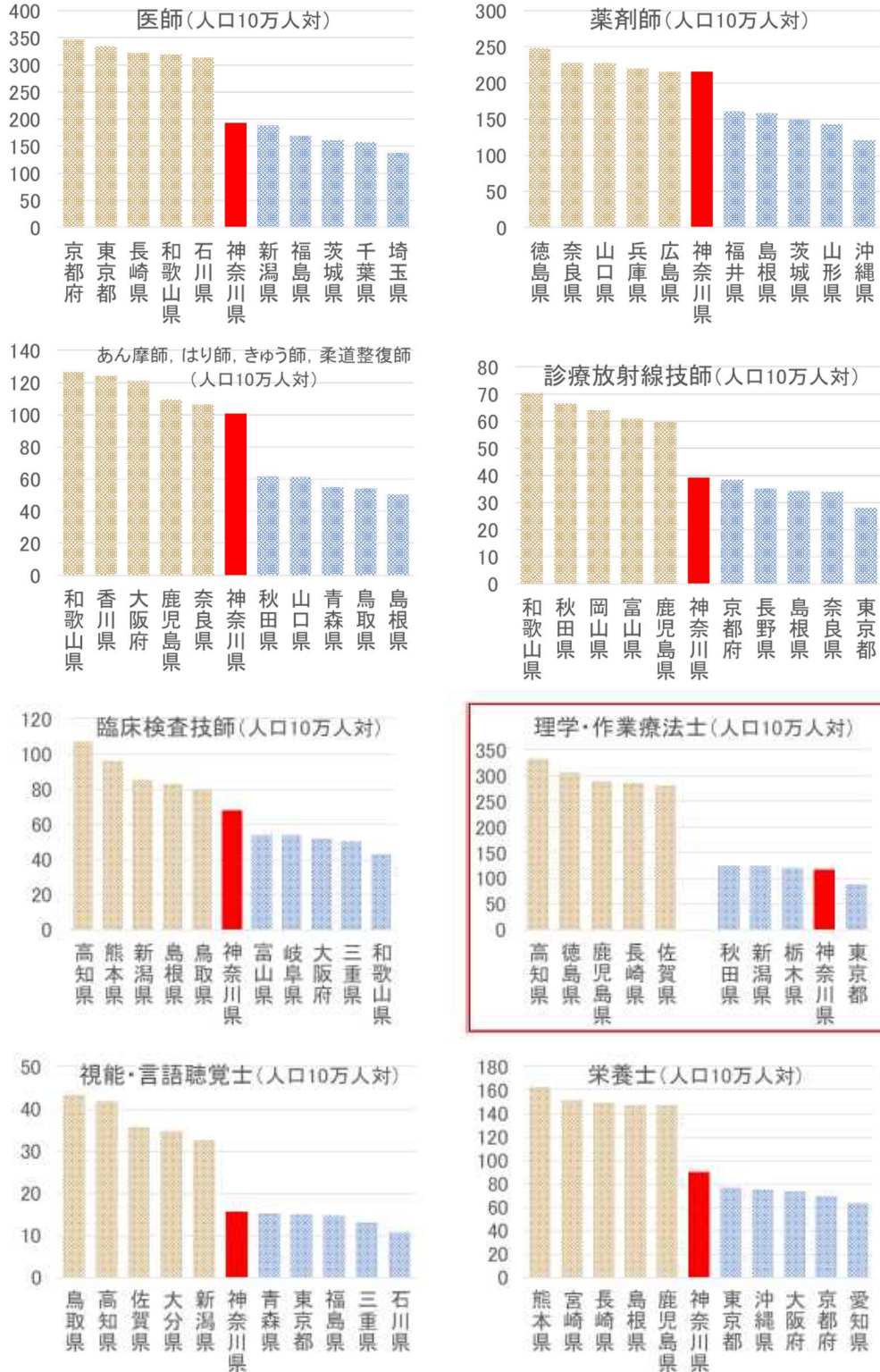
出典：横須賀市健康部資料より作成

エ. その他の保健医療従事者の状況

- ・ 神奈川県は「理学療法士・作業療法士」が、人口10万人対全国平均を下回っている

「図20」参照

図20 医療関係従事者の状況（人口10万人対）



出典：総務省統計局「令和2年国勢調査」より作成

オ. 理学・作業療法士養成施設の状況

- ・ 神奈川県は、理学療法士・作業療法士の養成施設数、定員が少ない
(人口上位10都道府県比較)

「図 21」参照

図 21 理学療法士・作業療法士の養成施設の都道府県別入学定員数

理学療法士														
NO	都道府県	人口	合計		大学		専門職大学		短期大学		専門学校4年制		専門学校3年制	
			定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数
	全国	126,146,099	14,674	273	6,549	118	390	6	240	4	3,185	59	4,310	86
1	東京都	14,047,594	1,371	19	570	7	80	1			320	4	401	7
2	神奈川県	9,237,337	370	7	220	5					150	2		
3	大阪府	8,837,685	1,315	23	745	12					280	4	290	7
4	愛知県	7,542,415	1,010	19	400	8			40	1	150	3	420	7
5	埼玉県	7,344,765	825	13	585	9					80	1	160	3
6	千葉県	6,284,480	765	12	465	7					60	2	240	3
7	兵庫県	5,465,002	675	14	350	7					40	1	285	6
8	北海道	5,224,614	667	13	407	7					140	3	120	3
9	福岡県	5,135,214	990	16	320	5					280	4	390	7
10	静岡県	3,633,202	320	7	140	3					120	3	60	1

人口上位10都道府県

作業療法士														
NO	都道府県	人口	合計		大学		専門職大学		短期大学		専門学校4年制		専門学校3年制	
			定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数
	全国	126,146,099	7,645	205	3,522	96	280	6	140	4	1,433	38	2,270	61
1	東京都	14,047,594	655	14	220	5	80	1			165	3	190	5
2	神奈川県	9,237,337	235	8	165	5					70	3		
3	大阪府	8,837,685	645	16	445	11					120	2	80	3
4	愛知県	7,542,415	495	14	215	6			40	1	60	2	180	5
5	埼玉県	7,344,765	260	6	220	5							40	1
6	千葉県	6,284,480	285	8	145	4					30	1	110	3
7	兵庫県	5,465,002	360	10	140	4					40	1	180	5
8	北海道	5,224,614	403	12	188	6					110	3	105	3
9	福岡県	5,135,214	650	15	210	5					120	3	320	7
10	静岡県	3,633,202	140	4	70	2					40	1	30	1

人口上位10都道府県

出典：公益社団法人日本理学療法士協会ホームページ「養成校一覧」、
 一般社団法人日本作業療法士協会ホームページ「作業療法士養成校一覧」、
 総務省統計局「統計でみる市区町村のすがた 2023」(国勢調査)より作成

(3) 市立看護専門学校の現状と課題

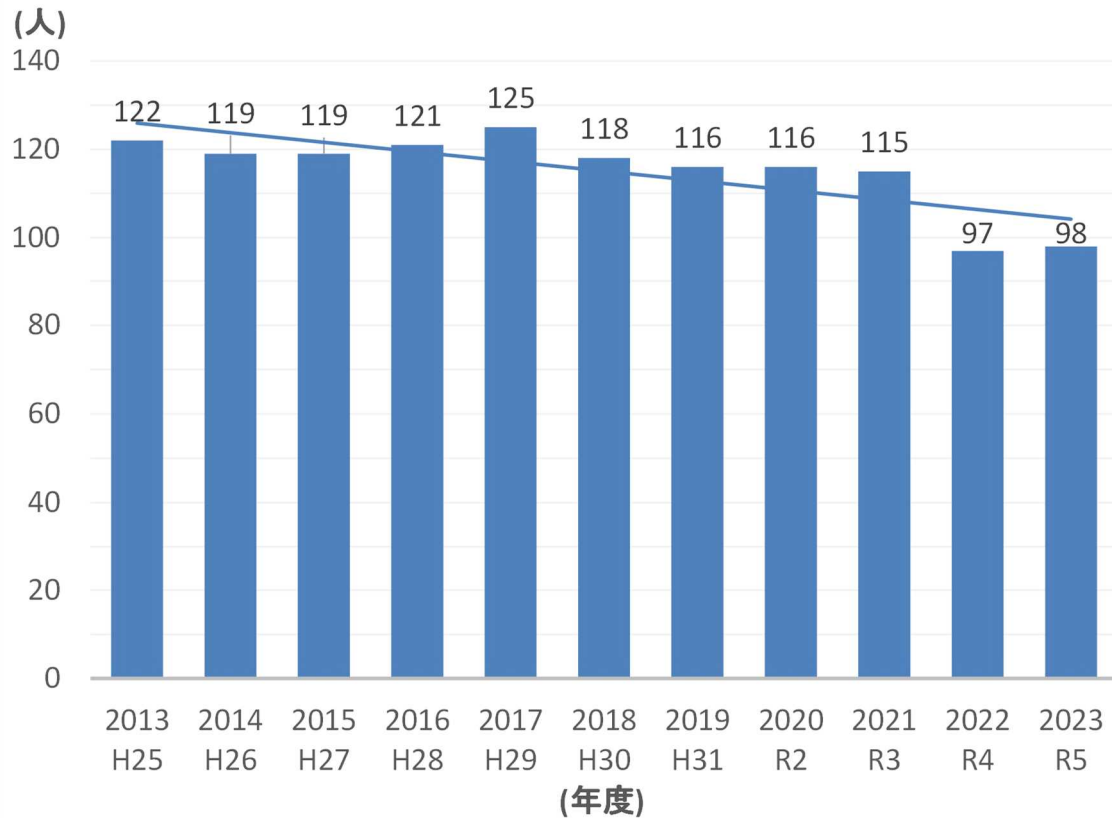
ア. 概要

- ・ 所在地：横須賀市上町2丁目36番地（うわまち病院敷地内）
- ・ 敷地：1975.67 m²（延床面積 3067.00 m²）
- ・ 建物：昭和53年築・平成15年耐震改修/鉄筋コンクリート造5階建（1～3階を使用）
- ・ 開校：平成16年4月1日
- ・ 課程学科：医療専門課程、看護学科
- ・ 修業年限：3年
- ・ 取得資格：看護師の国家試験受験資格、保健師・助産師学校の受験資格
専門士（医療専門課程）の称号
- ・ 定員：1学年40人（総定員120人）
- ・ 入学金：市内5万円・市外10万円
- ・ 授業料：年間15万円
- ・ 専任教員：13名（副校長含む、令和4年度時点）
（修士：4名、学士：5名、専門学校卒業：4名）
- ・ 外部講師：99名（令和5年度時点）
【市内】大学等5名、病院46名、クリニック・施設等14名
【市外】大学等7名、病院4名、クリニック・施設等4名
【その他】19名

イ. 現状

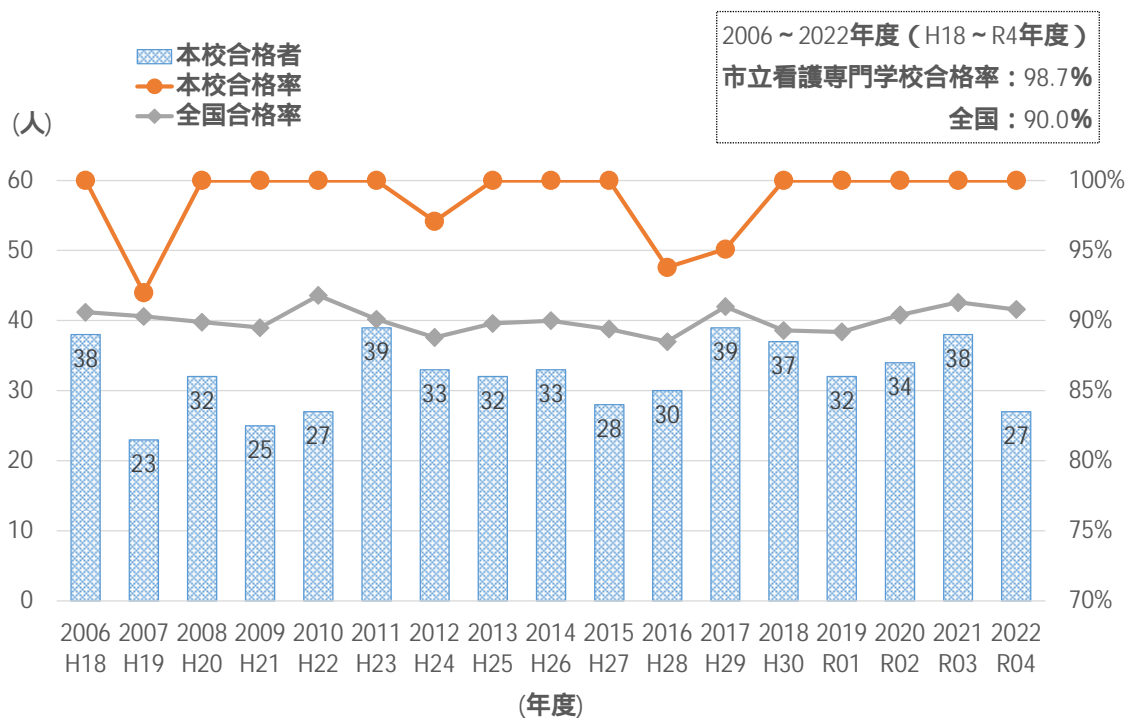
- ・ 【学生数の推移】平成30年度以降、1学年40人（総定員120人）の定員に満たず減少傾向
「図22」参照
- ・ 【国家試験合格率】
看護専門学校の累計の合格率（平成18年～令和4年）は98.7%であり、高い合格率を維持している（全国合格率90%）
「図23」参照
- ・ 【卒業生の進路】
過去の累計（平成18年～令和4年）のうち87%が市内へ就職（卒業生556人中、485人）
「図24」参照

図 22 市立看護専門学校学生数推移



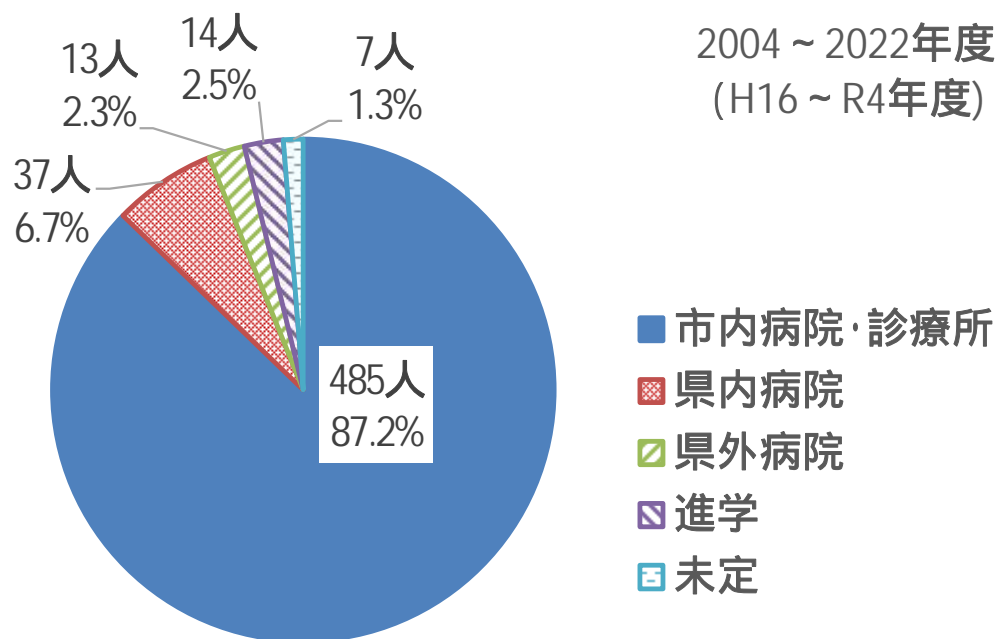
出典：横須賀市健康部資料より作成

図 23 看護師国家試験合格率



出典：横須賀市健康部資料より作成

図 24 市立看護専門学校卒業生の進路状況



出典：横須賀市健康部資料より作成

ウ. 市立看護専門学校の課題

【受験者の減少（1学年定員40名）】

- ・ 開校当初～10年目は平均約150名のところ、近年は50～60名程度に減少
- ・ 近年の受験者の減少は本校だけでなく、3年課程の看護専門学校の全国的な傾向
「図25」参照

【施設の老朽化】

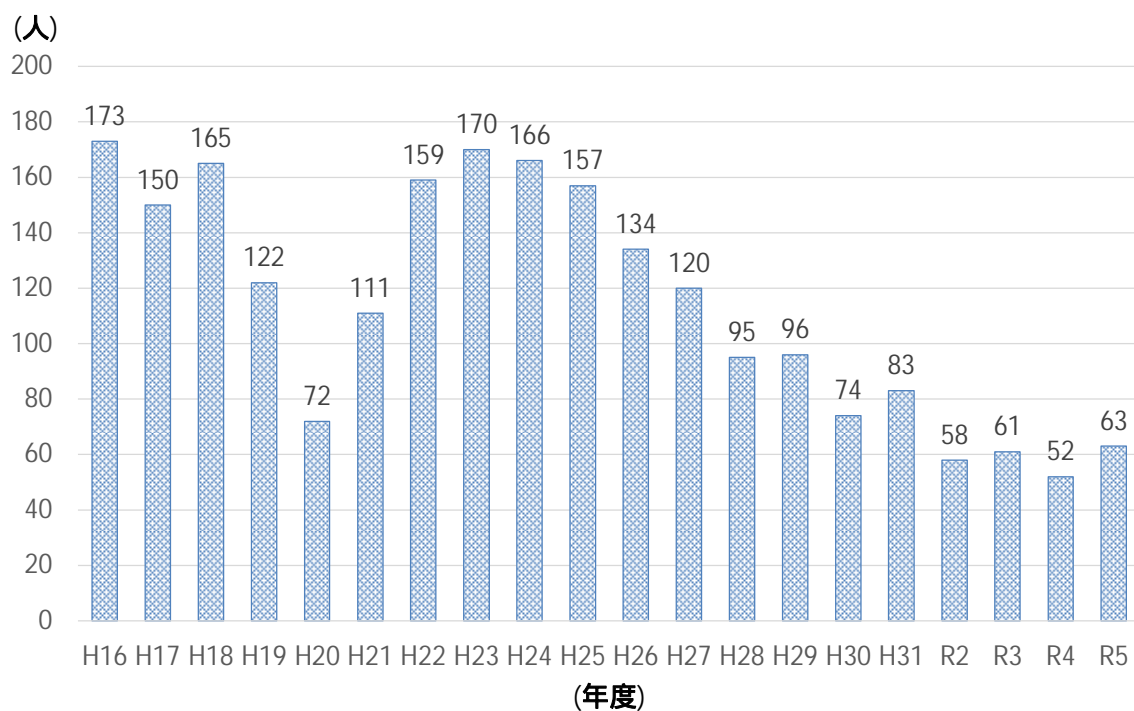
- ・ 築45年が経過（税法上の耐用年数は47年）

【看護教育における時流の変化】

- ・ 時流に対応したカリキュラム改正が重ねられた結果、総単位数が増加
3年間の修業年限で扱う内容が過密に

「図26」参照

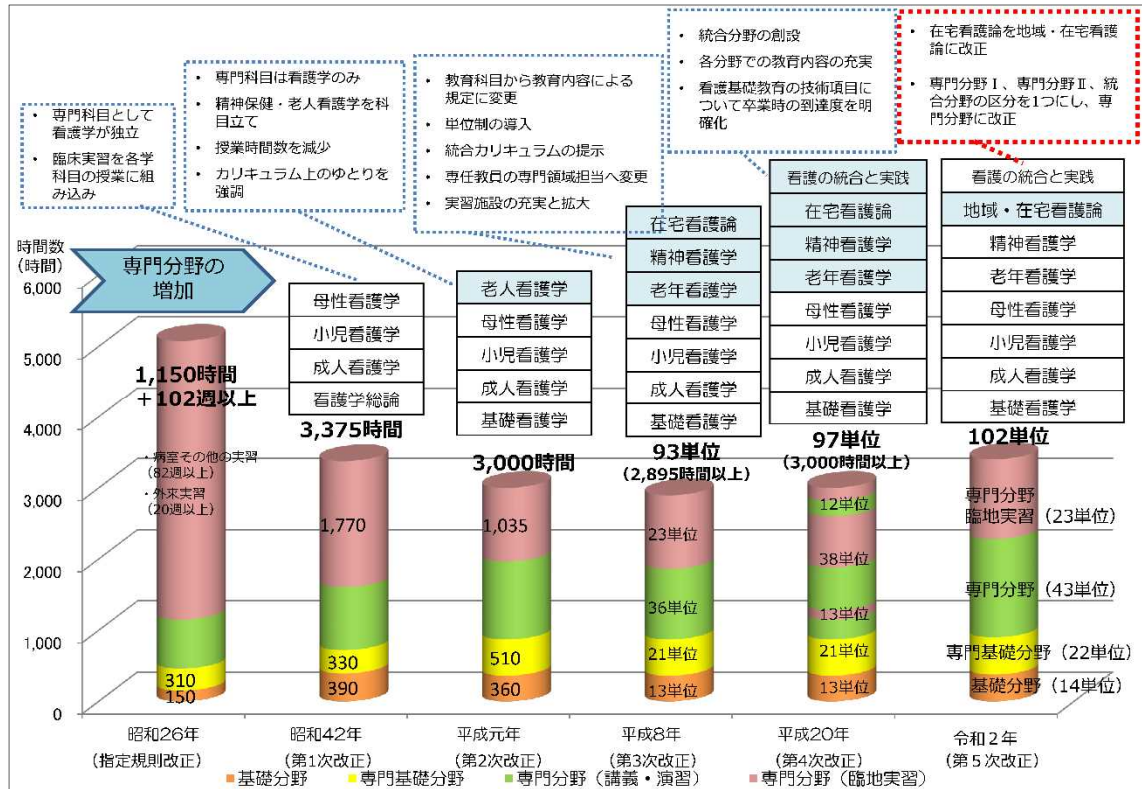
図25 市立看護専門学校受験者数推移



受験者数は当日欠席者を含む

出典：横須賀市健康部資料より作成

図 26 看護師 3 年課程教育内容の変遷



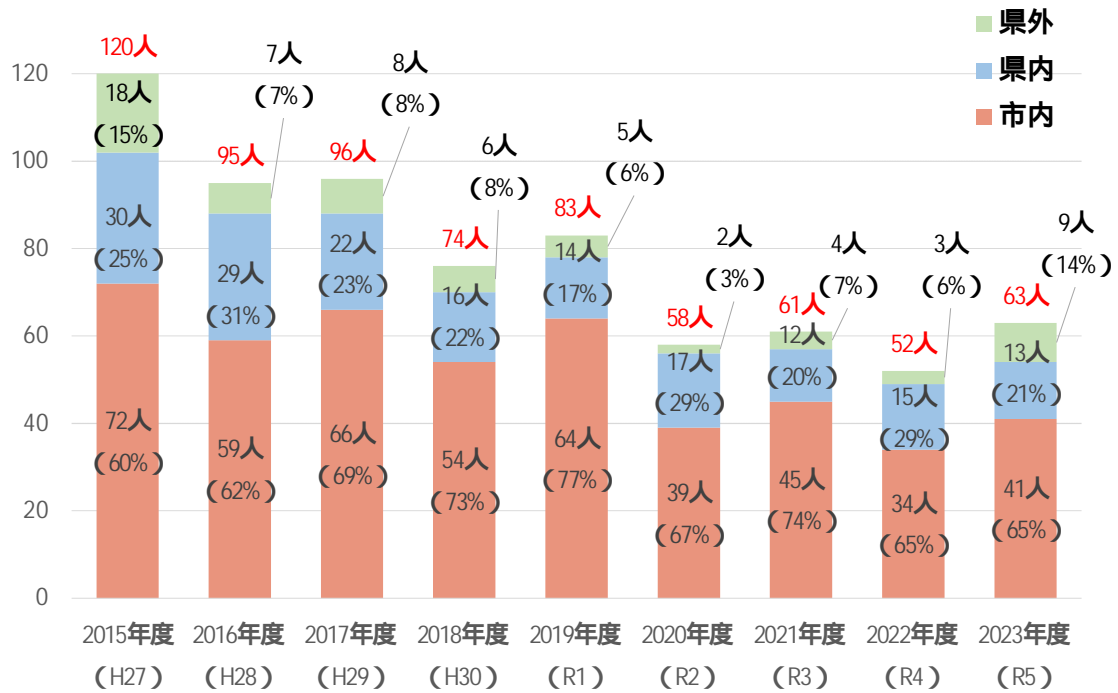
出典：厚生労働省 医政局看護課 教育体制推進官 五十嵐久美子「看護行政の動向」より抜粋

工. 受験者の状況

- ・ 受験時の居住地は、市内が約7割
- ・ 県内（横須賀市除く）が約2割、県外が約1割

「図 27」参照

図 27 市立看護専門学校受験者数の推移（市内・県内（横須賀市除く）・県外）



受験者数は当日欠席者を含む

出典：横須賀市健康部資料より作成

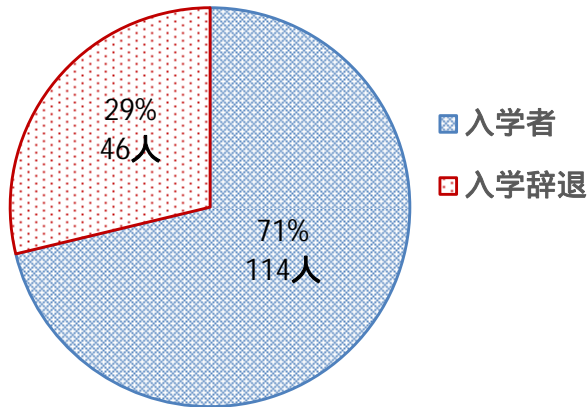
オ. 合格者の状況

- ・ 一般入試合格者（160人）のうち、約3割（46人）が入学辞退
公募・指定校推薦入試合格者は原則辞退なし
- ・ 辞退理由としては、「併願校への入学」（一部聞き取り）
- ・ 以前に比べて、4年生の大学を併願先とする学生が増えている
（平成30年度：30人中8人 令和5年度：22人中11人）

「図28」参照

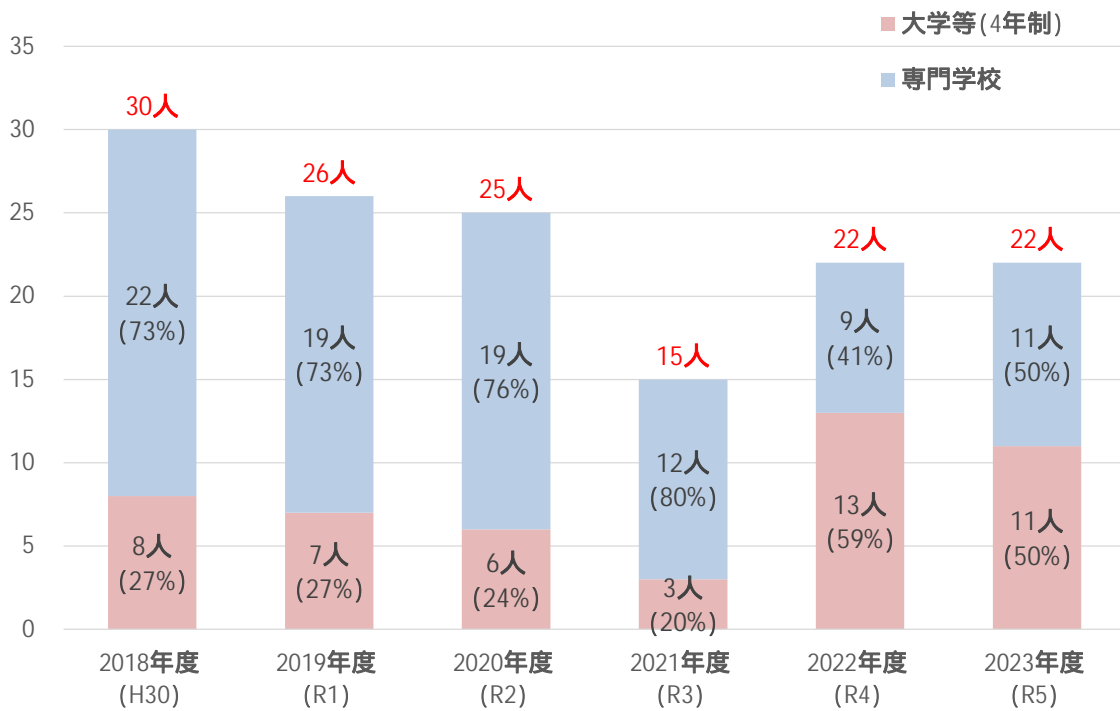
「図29」参照

図28 一般入試合格者の状況



出典：横須賀市健康部資料より作成

図29 受験者の併願先推移



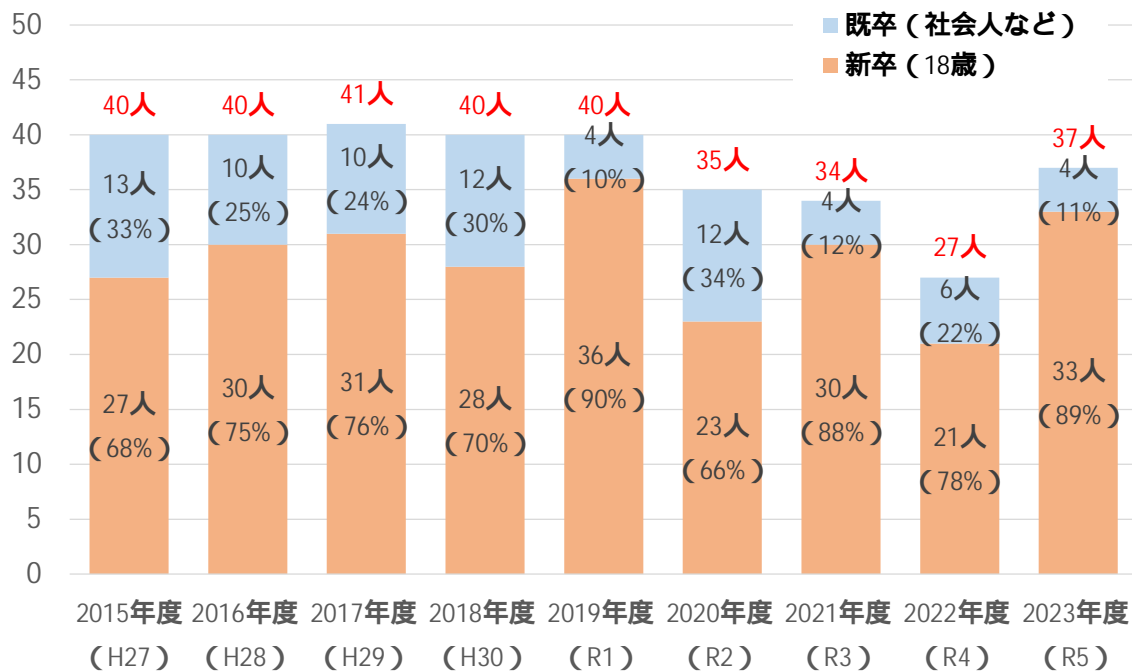
出典：横須賀市健康部資料より作成

カ. 入学者の状況

- ・ 令和2年度以降、入学定員（1学年40人）を満たない状況が続いている
- ・ 入学者のうち、約1/4が新卒者以外

「図30」参照

図30 市立看護専門学校入学者数の推移（新卒・既卒）



出典：横須賀市健康部資料より作成

キ. 現在の市立看護専門学校の減免制度

- ・ 生活保護世帯、住民税非課税世帯等の市民が対象
- ・ 入学検定料（7千円）、入学金・授業料（3年総額50万円）の免除

【参考】高等教育の就学支援新制度（国制度）

経済状況に関わらず、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校への進学を可能とする機会の確保を目的に、高等教育の修学支援新制度を実施している

制度開始：令和2年4月

対象者：高卒2年以内、生活保護世帯、住民税非課税世帯等

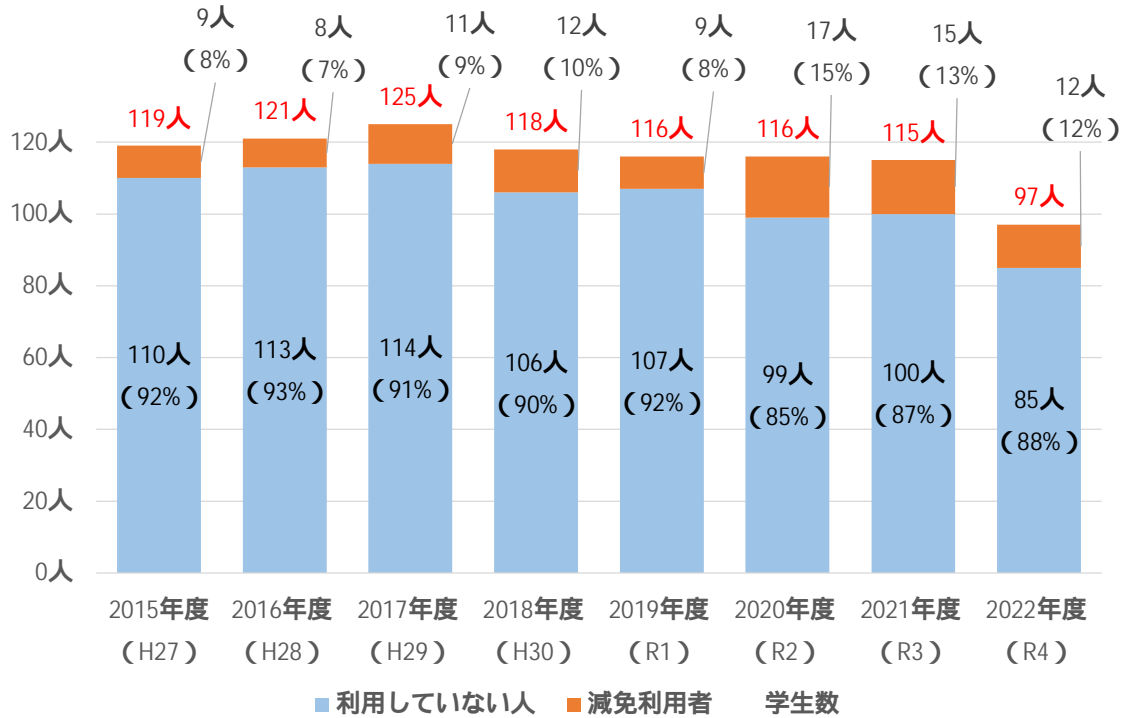
対象費用：入学金（上限7万）・授業料（上限17万）

ク. 市立看護専門学校における減免制度利用者

- ・ 学生の約1割程度(10人前後)が生活困窮等を理由に授業料の減免を受けている

「図31」参照

図31 市立看護専門学校の学生数と授業料減免状況



出典：横須賀市健康部資料より作成

ケ. 国と市の減免制度の比較

		国		市	
対象者と減免率		・生活保護世帯 ・市民税非課税世帯	3 / 3	・生活保護世帯 ・市民税非課税相当(均等割)世帯	全額
		・及びそれに準ずる世帯	2 / 3 or 1 / 3		
対象項目	入学検定料	×			
	入学金	(上限 7 万円)			
	授業料	(上限 17 万円)			
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・高卒後 2 年以内を対象 ・留年者は対象外 ・市外在住者も対象 ・給付型奨学金の支給あり 		<ul style="list-style-type: none"> ・国制度を優先 ・市内在住者のみ対象 市内在住のひとり親家庭が主な対象となる	